

みなさまへ

第 79 回トイレラボ勉強会のご案内（オンライン）

トイレラボ勉強会は、毎回ゲストをお迎えして、参加者のみなさんと一緒に意見交換をしながらトイレや排泄のことを考える場です。参加者同士がつながっていきけるような勉強会ですので、会員以外の方もお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

ゲストスピーカー

加藤 裕之さん（東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 特任准教授）



昭和 61 年 4 月建設省下水道部に入省、その後、滋賀県下水道課長、日本下水道事業団計画課長、国土交通省下水道部下水道事業調整官、流域管理官、下水道事業課長等を歴任し退職。令和 2 年 4 月より東京大学大学院都市工学専攻下水道システムイノベーション研究室特任准教授。東北大学特任教授(客員)、中央大学研究開発機構・教授。主な著書に『上下水道事業の PPP/PFI の制度と実務』（編著）、『コンセプト下水道 2』など。

テーマ『ウォーターPPPで上下水道はどう変わるのか？』

私たちの暮らしと公衆衛生を支えている上下水道は、施設の老朽化、担い手不足、人口減少による料金収入の減少などの課題に直面しています。こうした状況のもと、自治体はウォーターPPP（Water Public Private Partnership）の導入を検討しています。PPPとは、上下水道事業の所有権は自治体が保持したまま、運転・維持管理、更新計画、場合によっては料金徴収などの業務を、民間事業者と中長期契約で分担・連携して行う官民連携手法の総称です。民間の技術力や経営ノウハウを活用することで、事業の効率化や持続性の向上が期待される一方、公共性の確保、料金やサービス水準の透明性、災害時対応、長期的な責任の所在など、論点も多く存在します。

今回は、下水道政策や水環境がご専門の加藤裕之さんを講師にお迎えし、ウォーターPPPの制度や具体的な仕組みを学びながら、上下水道を「暮らしのインフラ」としてどう守り、どう次世代につないでいくのかについて学びます。

【日 時】2026年 **3月13日（金）18:30～20:00**

【定 員】先着 100 名

【参加費】会員：無料 / 非会員：2,000 円

【視聴方法】オンライン（ライブ配信）※Zoom 使用

【申込方法】下記 URL または二次元コードよりお申し込みください

会員の方 → <https://x.gd/iPO3i>

非会員の方 → <https://toiletlabo.official.ec/items/132723791>

お申し込みの際にご記入いただいたメールアドレス宛に参加 URL が自動返信で届きます。資料データの配付は行っておりません。また、勉強会の録音・録画はご遠慮ください。

【問 合 先】特定非営利活動法人日本トイレ研究所

MAIL laboseminar@toilet.or.jp / TEL 03-6809-1308

会員の方



非会員の方

